



# 礪川だより

令和4年度10月号  
文京区立礪川小学校  
校長 中西 賢

## 「絶対大丈夫」という自信

校長 中西 賢

朝夕の風に秋の気配を感じる季節となりました。先日、夜のまだ早い時間に小石川植物園の脇の道を通っていたときの事です。植物園に近付くにつれてざわざわとした音が聞こえてきました。歩くうち、すぐにそれが虫の声であることが分かりました。植物園に近付くにつれて虫の声はだんだんと大きくなり、植物園の塀に沿った道では会話さえかき消されるほどの大音量となりました。おそらく、この音色は、礪川小学校が開校した150年前から、ずっと変わらずに続いていたのではないかとすると、季節の移り変わりを感じるとともに、また、新たな発見をしたようなうれしい気持ちになりました。

さて、今年も新型コロナウイルスの感染防止を優先した夏休みとなりました。思うように夏休みの予定が立てられない中、お子様の思い出作りにも苦勞されたのではないのでしょうか。また、夏休み中の宿題や、150周年に向けての様々な取り組みにご協力いただきありがとうございました。始業式の朝、登校してくる子供たちの挨拶や笑顔は、どの子も充実感に溢れていました。

**「絶対大丈夫。その根拠は、君たちが自分のことをしっかり理解し、チームや仲間のことを理解し、周りを信じているから。一枚岩になったら絶対に崩れない。絶対に大丈夫。なんかあったら僕やコーチに相談して。自分で抱え込まない。これがチームスワローズ。絶対大丈夫だから。どんなことがあっても僕らは崩れない。絶対大丈夫。」**

これは、前々年度の最下位から、2年連続リーグ優勝を果たしたプロ野球ヤクルトスワローズの高津臣吾監督が、選手に向けてかけ続けた言葉（一部抜粋）です。「絶対大丈夫」という言葉は、聞き方によっては、無責任に聞こえるかもしれません。しかし、なぜ大丈夫なのか、その根拠を明確にして繰り返し声に出すことで徐々に自信に変えることができます。前々年度最下位だったチームは、今できること、当たり前のことを確実に行うことで、小さな成功体験を積み重ね、お互いに信じ合うことで、自信を少しずつ取り戻していったのだと思います。また、「僕やコーチに相談して」という言葉にあるように、相談したり悩みを打ち明けたりできる環境をつくることも、人が育っていく上で大切なポイントです。時には傾聴し、時にはアドバイスをするなど、お互いに会話をすることで安心感や信頼関係が生まれます。チーム礪川でも、子供たちの声に耳を傾け、当たり前のことを当たり前でできる力を身に付け、自信をもって様々なことにチャレンジできる子供を育てていきたいと考えています。今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

また、現在学校内では150周年記念事業が着々と進んでいます。

先日、函館にお住まいの方から学校に「数年前になくなった祖父の遺品を整理していたら、東京の礪川小学校の冊子が出てきたのですが、そちらの学校にお送りしてもいいですか？」とのお問い合わせがありました。お話をお聞きしたところ、その方は青森県のご出身で、大正の中頃に東京で奉公していた数年間だけ礪川小学校に通われていたことが分かりました。「最後まで大切にしていたようなので、きっと東京で礪川小に通った数年間が祖父の自慢だったのでしょう。」とのこと。ご寄贈いただいたところ、大正11年・開校50周年記念の冊子だと判明しました。礪川小に関わってくださった多くの方々と歴史の重みをひしひしと感じながら、150周年記念事業に取り組んでまいります。

【今月の論語】 なんじ くんし じゆ な しょうじん じゆ な な 女、君子の儒と為れ。小人の儒と為ること無かれ

理想をもち、思いやりの心を忘れずに学ぶことが大切です。  
ただたくさんの知識だけを身に付けただけの人になってはいけません。

10月の生活目標 【はじまりの時刻を守ろう】

休み時間終了時に、「時間になったよ」と声をかけている高学年や運動委員の姿がとても立派でした。学校全体で、時間を意識して生活する様子が見られました。

さて、10月になり、休み時間に校庭で遊ぶことが気持ちよい季節になってきました。子供たちは限られたスペースを工夫して、様々な遊びを楽しんでいます。始業時刻や授業開始時刻、休み時間終了時刻を意識して、ノーチャイムでも時計を意識して生活することが身に付いてきています。ご家庭でも、時間を意識してリズムよく生活ができるように、ご協力をお願いします。

～10月の行事予定～

1日	土	都民の日	16日	日	
2日	日		17日	月	全校朝会 避難訓練
3日	月	※B時程 全校朝会 校内研究会 給食後下校 (5-1のみ 14時30分下校)	18日	火	学びの教室個人面談
4日	火	体育朝会(12年)	19日	水	校外学習(1年)
5日	水	安全指導 ※3～6年は6時間授業	20日	木	体育朝会(34年)ニコニコタイム
6日	木	※B時程	21日	金	防災宿泊体験始(4年)
7日	金	歯科検診(46年、特支)委員会活動	22日	土	防災宿泊体験終(4年)
8日	土		23日	日	
9日	日		24日	月	全校朝会
10日	月	スポーツの日	25日	火	児童集会
11日	火	邦楽教室(56年)	26日	水	
12日	水	※4時間授業	27日	木	陸上記録会(6年)
13日	木	読み聞かせ 学びの教室個人面談	28日	金	
14日	金	歯科検診(35年) 学びの教室個人面談	29日	土	
15日	土		30日	日	
			31日	月	※B時程 全校朝会 校内研究会 給食後下校 (3-2のみ14時30分下校)

○スクールカウンセラー(月・火・木)へのご相談、予約は、副校長または直通電話にて承ります。

相談室直通電話 03-3811-6771 (月・火) 寺島SC (木) 都甲SC

※10月は時程の変更が多くあります。ご注意ください。また、学年だよりでもご確認をお願いします。

算数少人数指導について

算数少人数担当 竹村 夕紀

本校の算数科の学習は、全学年少人数指導で行っております。2クラスを3クラスに分け、より少ない人数で授業を行うことで、子供たち一人一人をより丁寧に指導できる、発言の場を多く設けることができるなど多くの利点があります。子供たちの意欲を引き出して、確かな学力が定着するよう日々努力しております。

算数の学習で印象的なのは、子供たちが楽しんで問題を解く姿でしょうか。問いが解けて正解したときの嬉しさがクイズの楽しさと似ているのでしょうか。問題を解くときはどの子も真剣な表情で、解けたときは目を輝かせます。授業では、その時間の問題に対し、まず既習事項を基にして自分の考えをノートに書き出します。次に自分の考えを友達に説明し、さらにクラス全体で互いの考えを出し合いながら考えを深めていきます。答えを導き出す方法は一つではなく、「はやく、簡単に、正確に」できる方法はないか、さらにより問題解決の方法はないかを皆で考えていきます。単に学習の中で出てくる公式などを覚えるだけではなく、どうしてその公式になるのかを自分の力で考え、説明する力を伸ばすことが大切です。

算数科の授業を通して、学び合うことの良さや、考える楽しさを伝えていきたいです。

「魚沼移動教室」

6年担任 中津 寛大

6年生にとっては待ちに待ったこの瞬間、学校としても3年ぶりに実施となった魚沼移動教室に、9月7日(水)～9日(金)の3日間行ってまいりました。

1日目は馬高縄文館と長岡歴史博物館を見学しました。馬高縄文館では「火焰型土器」をはじめ、縄文時代の貴重な発掘物を見ることができました。またこの時代に使われていた弓矢を体験させていただきました。長岡歴史博物館では、この地方の人々の暮らしについて縄文時代から近代に至るまで詳しく知ることができました。

2日目は震災ミュージアムそなえ館、錦鯉の里、そして鈴木牧之記念館を見学しました。そなえ館では新潟中越地震について、錦鯉の里では小千谷市の伝統的な地場産業である錦鯉の生育について、そして鈴木牧之記念館では、著書『北越雪譜』で越後の雪深い暮らしを、江戸を始め日本全国に伝えた鈴木牧之氏について学びました。また、この日の夜はキャンプファイヤーを行い、火を囲みながら皆で楽しく過ごしました。

3日目は宿でお土産購入体験とお米詰め体験を行い、その後、魚沼醸造を見学しました。そして魚沼産コシヒカリを使った糀や甘酒について学び、甘酒と甘酒ソフトクリームを試食しました。

この3日間、子供たちは「体験・自立・協力」をめあてに過ごしました。最初は「何時から食事ですか?」と質問していた子供たちが、日に日にしおりを見て見通しをもった上で行動することができるようになっていきました。同じ部屋で過ごす際、お互いが気持ちよく過ごせるよう、人の気持ちを考え、協力して過ごす力が付きました。移動教室が終わるころには食事・保健・レク・整理・班長、それぞれの係が協力し合い、5分前行動を意識し声をかけ合い活動できました。この短い期間の中で成長したことがたくさんありました。もちろん、課題もありますが、この経験を生かし、残り約半年間、卒業まで過ごしていきます。

